

糖尿病だより

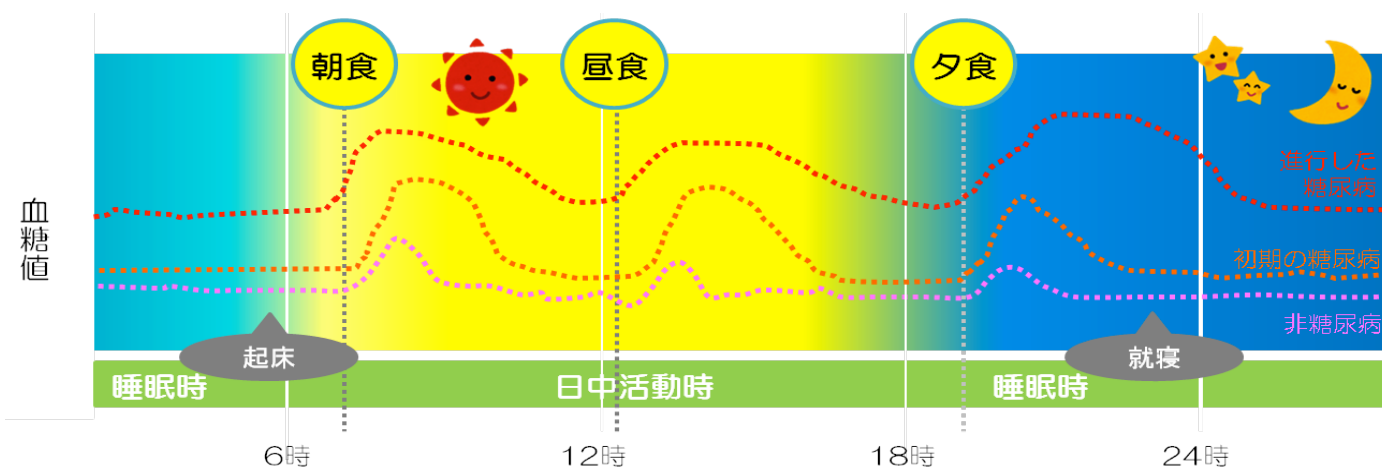
2017年9月
No.52

～臨床検査科より～ 血糖値、HbA1cについて

～血糖値～

血液中のブドウ糖の濃度のことです。

血糖値のコントロールが悪い時には、朝食前の血糖値（空腹時血糖値）からすでに高く、食後はさらに高くなり、なかなか元の値に戻りません。空腹時血糖値で 126mg/dL 以上、食事時間と関係なく 200mg/dL 以上では糖尿病が疑われます。



～HbA1c（糖化ヘモグロビン）～

ヘモグロビンは、血液中の赤血球の中にあり、全身に酸素を運んでいます。このヘモグロビンにブドウ糖が結合したものの一つが、HbA1cです。血糖値が高くなるほど多く結合し、過去1～2ヶ月の血糖の平均値を反映しています。HbA1cが6.5%以上で糖尿病が疑われます。

～血糖コントロールの目標～

目標	血糖正常化を目指す際の目標	合併症予防のための目標	治療強化が困難な際の目標
HbA1c	6.0% 未満	7.0% 未満	8.0% 未満

合併症予防のために可能であればHbA1c 7.0%未満を目指します。



糖尿病のコントロールには食事・運動などの生活習慣を変えることと、その継続が欠かせません。皆様の糖尿病療養に役立つ情報をこの「糖尿病だより」で発信していきます。